

# 数学 広島大学 (前期) 数学 (理系)

## <全体分析>

試験時間	150分	解答問題数	5題
------	------	-------	----

### 解答形式

記述形式

### 分量・難易 (前年比較)

分量 (減少・やや減少・**変化なし**・やや増加・増加)

難易 (易化・やや易化・**変化なし**・やや難化・難化)

### 出題の特徴や昨年との変更点

数学 (文系) 型との共通問題が 2 題から 1 題に減り、数学ⅢC からの出題が 2 題から 4 題に増えた。

### その他トピックス

昨年は融合問題が 1 題であったが、今年度は 3 題であった。

## <大問分析>

問題番号	出題分野・テーマ	範囲	コメント (設問内容・答案作成上のポイントなど)	難易度
[1]	微分法・積分法	Ⅲ	関数の最大値、x 軸まわりの回転体の体積	標準
[2]	対数関数、数列	Ⅱ,B	点列と漸化式	標準
[3]	関数の極限	Ⅲ	三角関数の極限	標準
[4]	確率、数列、積分法	A,B,Ⅲ	カードの取り出しに関する確率、区分求積法	やや難
[5]	数列、複素数平面	B,C	漸化式で定められた複素数列	やや難

※難易度は5段階「易・やや易・標準・やや難・難」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

## <学習対策>

まず全分野にわたり基本を身につけたうえで、融合問題に取り組んでおこう。  
計算量の多い問題にも対応できる計算力を養っておこう。